

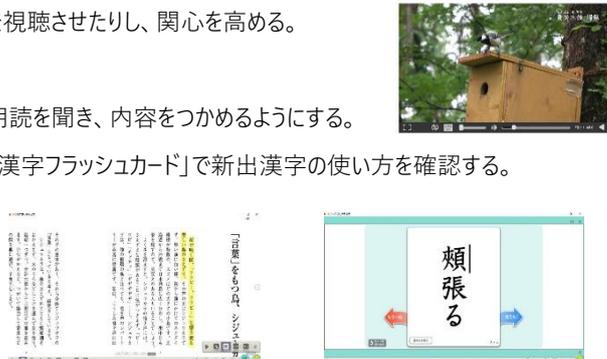
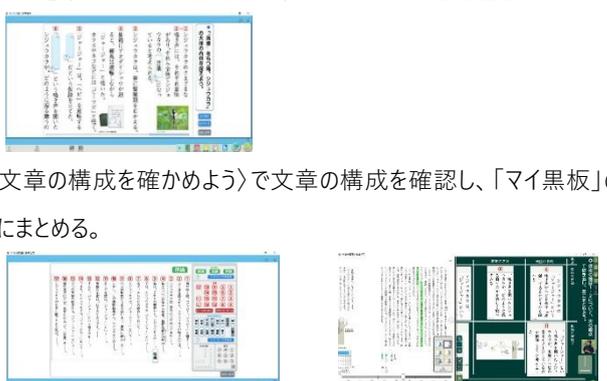
1年

「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ

単元の特徴(ねらい)とデジタル教科書の活用について

資料を活用した文章を読む活動を通して、意見(主張)に説得力を与える文章の構成や展開を理解したり、説得力を高めるために書き表し方を工夫(図表やグラフの活用)したりする資質・能力をつけたい。デジタル教科書では、教科書の図表やグラフを拡大提示したり文章表現との関連を確かめたりすることで、生徒の理解を深めたい。

指導計画例(全4時間)

学習活動 指導事項/留意点	デジタル教科書活用ポイント
<p>① 資料を活用した文章を読む活動の見通しをもち、学習課題を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鳴き声」にかぎかっこが付いていることに着目させ、シジュウカラが「言葉」をもつ動物であることを証明する文章であることを予想させる。 ・本文を通読し、段落番号を本文に記入させる。 ・新出漢字の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「さしえ」でシジュウカラの紹介をしたり、〈シジュウカラの鳴き声クイズ〉を視聴させたりし、関心を高める。 ・朗読を聞き、内容をつかめるようにする。 ・「漢字フラッシュカード」で新出漢字の使い方を確認する。 
<p>② 本文の内容を読み取り、5つの観点で表に整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の構成と、筆者がどのような事実をもとに、どのような仮説を立てたかを全体で確認する。 ・文章全体を通して意見と事実に着眼することを意識させる。 ・「検証の目的」「検証の方法」「結果」「考察・解釈」「問題点」の5つの観点で内容を読み取らせ、表にまとめさせる。 ・表にまとめたことをグループで共有し、全体で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ワーク」〈大体の内容を捉えよう〉で全体の要旨を把握させる。 ・〈文章の構成を確かめよう〉で文章の構成を確認し、「マイ黒板」の表にまとめる。 
<p>③ 論の展開に着目し、その効果について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に整理した表から、5つの観点の内容を全体で確認する。 ・5つの観点と各段落との関係について考えさせる。 ・筆者が行った実験や観察により、なぜ仮説が証明されたといえるのかを要点をおさえてまとめさせる。 ・各自で考えたことをグループで共有させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時でまとめた「マイ黒板」の表を提示する。 ・〈実験の様子〉を視聴させ、要点をおさやすくする。 ・「思考ツール」を使って考えさせる。 

★[4] 結論に説得力をもたせるための筆者の工夫について捉える。

- ・筆者の工夫を本文の記述や図表などを根拠に考えさせる。
- ・論の展開のしかたと根拠となる事実を、図表などを活用して提示していることの2点をおさえる。
- ・説得力のある文章を書くために使ってみたい工夫を、本文の記述や図表、写真を振り返りながら挙げさせる。

・「学習の窓一覧」から〈説明的な文章を読むために〉⑤⑥参照する。



・教科書の資料を拡大し、資料の活用について話し合わせる。

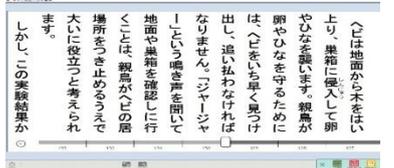
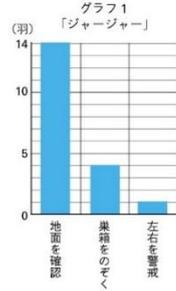
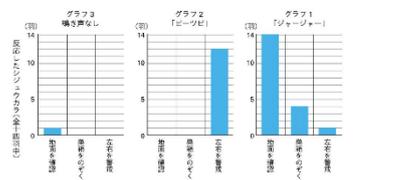
★4時の指導案

【本時のめあて】

結論に説得力をもたせるための工夫について、自分の考えをまとめることができる。

【評価】

論の展開のしかたと、資料提示の意図や効果について考える活動を通して、結論に説得力をもたせるための筆者の工夫について捉えている。

学習活動	◇指導上の留意点 ◆評価	デジタル教科書の活用例
<p>導入</p> <p>①前時の確認をし、本時の学習課題と学習の見通しを知る。 「結論に説得力をもたせるための筆者の説明の工夫について考えよう」</p>	<p>◇ 前時に学習した論の展開のしかたと、仮説を証明するための検証の過程について全体で確認する。</p>	<p>前時までにまとめた「マイ黒板」を提示する。</p> 
<p>展開</p> <p>②結論に説得力をもたせるために筆者はどのような工夫をしているかを考える。</p> <p>③教科書に載っている図表を提示し、「図表が何もないとどうなるか」「図表があると何が分かりやすいか」について考える。</p> <p>④筆者の論の展開の特徴を考える。</p> <p>⑤各自で考えた筆者の工夫を全体で共有し、確認する。</p>	<p>◇ ここでは、図表の効果と論の展開に焦点を当てながら、図表と文章の両方を読んでいく活動を行う。また、自分が文章を書くときの資料活用に生かすことをねらいたい。</p> <p>◇ 文章の言葉だけでは説明しにくい場面があることに気づかせる。</p> <p>◇ 根拠となる事実を、図表を活用せずに提示した場合、図表を1つ活用して提示した場合、図表を複数活用して提示した場合を比較させる。</p> <p>◆ 図表を活用することで、本文の記述だけでは想像しづらい実験の様子や結果を分かりやすくすることに気づいている。</p> <p>◇ 「事実と意見」を使ってまとめさせる。</p> <p>◇ 筆者は検証を2つ行っているが、1つ目の検証のみだった場合、2つ目の検証のみの場合、筆者の論はどのようになるかを考えさせたい。</p> <p>◆ 筆者の意見と、それを支える事実(根拠)との関係を考えている。</p> <p>◇ 論の展開のしかたと根拠となる事実を、図表などを活用して提示していることの2点をおさえさせたい。</p>	<p>〈説明的な文章を読むために ⑥図・表・グラフ〉を提示する。(②)</p>  <p>「ほんぶん」で、資料が表示されない部分を提示する。(③)</p>  <p>「ほんぶん」をスライドさせ、シジウカラの行動についてのグラフを提示する。(③)</p>  <p>更に「ほんぶん」をスライドさせ、シジウカラの行動についての複数のグラフを提示する。(③)</p> 

まとめ

⑥今回の学習を振り返り、今後どのように学んだことを生かせるか考える。

◇ 説得力のある文章を書くために使ってみたい工夫を、本文の記述や図表、写真を振り返りながら挙げさせる。

本単元の内容を「ワーク」の〈全文表示〉で提示する。(⑥)

